

計画の名称	北陸新幹線を軸とした北陸 3 県における広域観光活性化計画													
計画の期間	令和 0 2 年度 ~ 令和 0 6 年度 (5年間)											重点配分対象の該当		
交付対象	富山県													
計画の目標	平成27年3月に長野～金沢間が開業した北陸新幹線について、令和5年春には金沢～敦賀間の開業を控えるなど、北陸と首都圏及び関西圏への交通体系が大きく進展することを契機として、優れた観光拠点施設を有する北陸3県が密接に連携し、交通結節点と拠点施設間、または拠点施設を相互に連絡する広域的な周遊ルートを整備することにより、交流人口を拡大し、地域振興を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（ A + B + C + D ）		5,847	A	5,847	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30	R4末	R6末
1	【富山県・石川県・福井県共通目標】富山県、石川県、福井県における観光入込客数の増加率を現況<H30>100%に対し、<R6>112%とする（12%の増加）			
	・富山県・石川県・福井県 共通目標 観光入込客数の増加率 （観光入込客数の増加率）＝{（評価時点の観光入込客数）/（H30観光入込客数）}×100	100%	109%	112%
2	【富山県 目標】拠点施設における観光入込客数の増加率を現況<H30>100%に対し、<R6>107%とする（7%の増加）			
	・拠点施設における観光入込客数の増加率 （観光入込客数の増加率）＝{（評価時点の観光入込客数）/（H30観光入込客数）}×100	100%	107%	107%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域連携事業	A11-001	道路	一般	富山県	直接	富山県	国道	改築	（国）415号 谷屋大野バ イパス	バイパス L=0.6km	氷見市	■	■				80		-
	A11-002	道路	一般	富山県	直接	富山県	都道府 県道	改築	（主）宇奈月大沢野線 石垣新～大海寺野	バイパス L=0.9km	魚津市	■	■	■	■	■	884		-
	A11-003	道路	一般	富山県	直接	富山県	国道	改築	（国）304号 高宮バイパ ス	バイパス L=1.3km	南砺市	■	■				322		-
	A11-004	道路	一般	富山県	直接	富山県	都道府 県道	改築	（主）富山上市線 水橋 開発	交差点改良 L=0.2km	富山市	■	■	■	■	■	449		-
	A11-005	道路	一般	富山県	直接	富山県	都道府 県道	改築	（主）黒部宇奈月線 若 栗	バイパス L=1.3km	黒部市	■	■	■	■		388		-
	A11-006	道路	一般	富山県	直接	富山県	都道府 県道	改築	（一）中山田家新線 田 家野	現道拡幅 L=0.5km	黒部市	■	■	■	■	■	300		-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		R02 R03 R04 R05 R06																	
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
広域連携事業	A11-007	道路	一般	富山県	直接	富山県	都道府 県道	改築	（主）坪野小矢部線 正 権寺	現道拡幅 L=0.6km	砺波市	■	■	■	■	■	450		-
	A11-008	道路	一般	富山県	直接	富山県	国道	改築	（国）304号 荒木	現道拡幅 L=0.5km	南砺市	■	■	■	■	■	900		-
	A11-009	道路	一般	富山県	直接	富山県	都道府 県道	交通安 全	（主）高岡砺波線 杉木	交差点改良 L=0.1km	砺波市	■					80		-
	A11-010	道路	一般	富山県	直接	富山県	都道府 県道	改築	（一）千里八尾線 婦中 町千里	バイパス L=0.7km	富山市	■	■	■	■	■	512		-
	A11-011	道路	一般	富山県	直接	富山県	国道	交通安 全	（国）415号 雨晴	歩道整備 L=0.2km	高岡市	■	■	■	■	■	568		-
	A11-012	道路	一般	富山県	直接	富山県	都道府 県道	改築	（主）小矢部伏木港線 福岡町上野	バイパス L=1.1km	高岡市	■	■	■	■	■	521		-
	A11-013	道路	一般	富山県	直接	富山県	国道	交通安 全	（国）359号 平桜	交差点改良 L=0.2km	小矢部市	■	■	■	■	■	393		-

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
											小計						5,847			
											合計						5,847			

中 間 評 価

○ 中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制 富山県道路課において評価を実施する	中間評価の実施時期 令和7年3月
	公表の方法 富山県ホームページにて公表 URL : https://www.pref.toyama.jp/index.html

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	道路整備等を行うことにより、観光地へのアクセス性を向上し、広域観光の活性化に寄与したと考えられる。 【本事業完成で発現される効果】 A11-001：国道415号谷屋大野バイパスの整備により、広域連携に資する基盤が整備された。 A11-003：国道304号高宮バイパスの整備により、広域連携に資する基盤が整備された。 A11-005：県道黒部宇奈月線若栗バイパスの整備により、広域連携に資する基盤が整備された。 A11-009：県道高岡砺波線杉木の整備により、広域連携に資する基盤が整備された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○ 特記事項（今後の方針等）

未完成の事業については、令和6年度の計画完了に向けて事業進捗を図り、最終目標値達成に向けて計画的に事業を推進する。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	【富山県・石川県・福井県共通目標】富山県、石川県、福井県における観光入込客数の増加率を現況＜H30＞100％に対し、＜R6＞112％とする（12％の増加）		
	中 間 目標値	109％	国道304号のバイパスの開通に伴うアクセス向上により観光周遊に関する利便性は向上したものの、令和2年以降の新型コロナウイルス感染症拡大の影響と、感染拡大防止のための人流抑制等により、全国的に観光客が減少したため。
	中 間 実績値	89％	
2	【富山県 目標】拠点施設における観光入込客数の増加率を現況＜H30＞100％に対し、＜R6＞107％とする（7％の増加）		
	中 間 目標値	107％	国道304号のバイパスの開通に伴うアクセス向上により観光周遊に関する利便性は向上したものの、令和2年以降の新型コロナウイルス感染症拡大の影響と、感染拡大防止のための人流抑制等により、全国的に観光客が減少したため。
	中 間 実績値	65％	